

美川自然クワース

でーす H・16 10月号

「美川自然クラブ」は、美川町の清流・湧水のシンボルであるトミヨ（はりんこ）を保護し、美川町の身近な自然と手取川河口流域の生態系を守り、住み良く快適で明るい地域をつくるために行動することを目的とするボランティア団体です。

9月25日(土) 福井県大野市文化会館にて

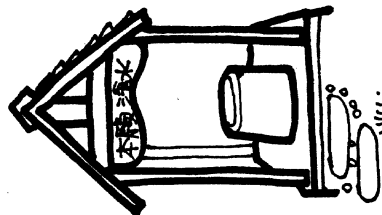
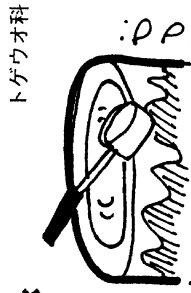
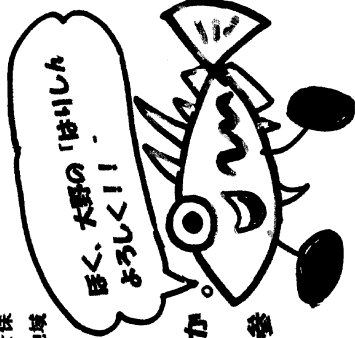
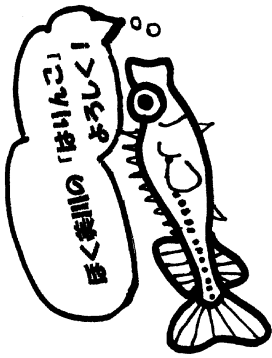
第二トゲウオ全国サミット IN ONO (トゲウオから日本の水環境を考える) が開かれ、自然クワースから10数名参加しました。

名水の町大野は地下水の水位が高めで、ちょっとしたくほ地では水が湧き出てきます。地元ではこれを「湧水」(しょうず)と呼んで、古くから飲み水や生活用水として利用してきました。

この地下水が育んできたものにイトヨがあります。イトヨは「ハリシン」と呼ばれ、水の豊富な頃は市内のあちこちでみられ親しまれてきた魚です。湧き水の少なくなった今では、本願湧水ほどこく限られた場所で見ることができません。(美川のトミヨが「はりんこ」と呼ばれ昔はたくさん見ることができたのに、今はその数が減り限られた場所で見られなくなっています。)

冷たくきれいな水にしか住めないイトヨを守るということは、大野の地下水を守ることであり、大野の水文化を守ることとも言えるかもしれませぬ。(大野市長さんのお言葉より)

はりんこを守ることは、美川の水を守ることであり、美川の自然を守ることだと思います。



日本のトゲウオのむかま

トゲウオをまもってというグループ (こんなにあります。)

